

カリキュラム(計画) 外国人児童生徒等リーダー研修会(6月20日)

作成者 氏名：高島 美保

養成・○研修 / 基礎・○専門・支援員 (該当するものに○)

★参照したモデルプログラムNO. (報告書 pp. 207-244) 下線：内容・項目 (pp. 72-76)

日時・場所	2018年6月20日(水) 13:30~16:30 時間180分 於:浜松市教育センター		
実施団体・機関	浜松市教育委員会		
研修・授業名	外国人児童生徒等リーダー研修会、外国人児童生徒等教育研修		
受講者	・人数: 33人 ・受講者の立場 外国人指導リーダー、外国人児童生徒等担当教員、教科指導員 ・年齢層:20代(2)名 30-40代(11)名 50代(15)名 60歳以上(5)名		
演題・テーマ☆	P. 75 <u>外国人児童生徒等のキャリア支援</u> P. 74 <u>心身の発達と学習の過程</u> ☆研修内容(報告書 pp. 72-76)を反映		
到達目標	・ライフコースに添った指導の必要性を実感し、意欲的にキャリア教育に取り組むことができる。 ・発達障害について知り、指導や支援の仕方について考えることができる。		
活動展開(分)	★	形態	留意点 参考資料
活動1 外国人児童生徒等の生き方指導について(30分) 発表者:土谷レオナルド(浜松市危機管理課職員)			
事例紹介 自身の生き方について	⑬	講話	・自身の体験の話 ・現在の仕事について
活動2 外国人児童生徒等の指導と発達支援教育(140分) 講師:清長 豊(NPO法人アジャスト)			
導入: ・自分が担当している子供の実態についての話し合い ○子供の表れについて ○教師の困り感について 等 ・話し合った内容についての発表(3校程度)	⑩	話し合い	・どういう状況でどんな表れがあるか。 ・いつ、どこで、何をするとどうなるのか。 ・心配の方向(どうなりそうか) ・指導で困っていること
展開 講話「外国人児童生徒等の指導と発達支援教育」NPO法人アジャスト 清長 豊氏 ・発表した事例についてのコメントやアドバイス ・質疑応答 まとめ ・講師より、本日の内容についてコメントをいただく。	⑩	講話 質疑応答	・発達障害や特別支援教育についてお話いただく。 ・学校での事例について、学校側がどのようにとらえ、どうしていくとよいか等のアドバイスをいただく。 清長さんのプレゼン資料